

ライフサポート拠点整備へ

# 早期に研究会設立

労働福祉協

県労働福祉協議会（羽田 則男会長）は、退職者・高齢者、現役労働者、事業とをつなぐネットワークの拠点を「ライフサポートセンター（生涯生活支援センター）」を設立する方針を固めた。設立に向けた研究会を早期に立ち上げる。福島市で二十四日に開いた総会で決めた。

研究会では、連合などと連携して進めている「勤労者の暮らしにかかるサポート事業」を積極的に事業展開していくための方法や地域ニーズの把握、団塊の世代や子どもたちの安全を守る取り組みなど、地域で考

え得るさまざまな活動について検討。センターの開始時期などを含め、年度内をめどに提言をまとめる。

2007.5.25  
福島民報



■県労働福祉協議会  
二十四日、福島市の県労働福祉会館で開かれた写真。関係者ら約百二十人が出席。羽田則男会長があ

いさつし、夏の参院選での結末など今年度の目標について話した。

運動方針の中では退職者、高齢者、労働者と事業所が一体となって生きがいづくりを目指すライフサポートセンター（生涯生活支援センター）立ち上げに向け、研究会を設置することが決まった。今年度のスローガンとして「活力ある福祉社会 地域共生で暮らしに夢を」が採択された。

2007.5.25  
福島民報